

こんにゃく新品種「みょうぎゆたか」の栽培特性

1. 試験のねらい

本県のこんにゃくは、全国第2位の537ha（9年産 全国 7,160ha）の作付があり、県北部・東部・西部の中山間地域の畑作物として重要な位置を占めているが、価格の低迷等によりその作付は年々減少してきている。しかし、その生産は、中山間地域の農業振興にとって重要である。

一方、栽培品種は、良品質の在来種を中心に作付されてきているが、病害に弱い等栽培性に劣ることから、近年、栽培しやすく、多収性・耐病性の「あかぎおおだま」の作付割合が年々増加してきている（9年産 40%）。そこで、良品質・多収性・耐病性のこんにゃく品種の選定・普及を図ることは、中山間地域のこんにゃく生産の安定に寄与するものと考えられ、新品種の本県での栽培特性等について調査した。

2. 試験の経過

「みょうぎゆたか」（群系66号）は、群馬県農業試験場こんにゃく分場において、昭和46年に良質の「群系26号」を母に、多収性の支那種の1系統「富岡支那」を父として交配を行い、平成3年「群系66号」の地方番号を付し、平成9年「みょうぎゆたか」として品種登録された。

本県においては、平成4年度に配付を受け、農業試験場本場で優良品種選定試験の中で1年生（生子）栽培を、平成5年度より2年生・1年生栽培で試験を実施した。また、現地での生育特性把握のため、8年度は馬頭町（2年生栽培）において、9年度は県内5カ所（茂木、馬頭、西方、栗野、鹿沼）で栽培試験（3年生栽培）を実施し、その特性を調査した。

3. 特性の概要

栽培特性は次のとおりである。

- (1) 草型は立性で、葉柄は太く、小葉の大きさは小さく、小葉数は多く、葉色は濃緑である。
- (2) 出芽・開葉期は在来種に比し、同～やや早め（農業試験場）であるが、現地では遅い。
また、成熟期は遅く10月中～下旬である。
- (3) 病害は、葉枯病・根腐病に対しては在来種より強く、腐敗病には在来種並に強いが、乾腐病（*Fusarium solani*）には弱い。
- (4) 球茎収量は、在来種より高く多収であるが、あかぎおおだまよりは低い。また、生子収量も高く増殖性に富む。生子の形は棒状～球状で、在来種に比べて棒状の割合が多く、2・3年生の着生子では半数以上が棒状であるが、あかぎおおだまよりは少ない。
- (5) 品質は、荒粉・精粉歩留ともあかぎおおだまより高く優れる。

4. 普及地帯および栽培上の留意点

- (1) 県内のこんにゃく栽培地域。
- (2) 晩生種である。
- (3) 乾腐病に弱いため、種球選別・種球消毒の励行が必要である。
- (4) 生子の形が棒状であることから予備乾燥の実施が必要がある。

5. 成果の要約

こんにゃく新品種「みょうぎゆたか」は、収量性で在来種に優り、品質面でもほぼ在来種並であることから、こんにゃく地域の生産安定と低コスト化栽培に向けて期待できるものと思われる。

（担当者 作物部 相吉沢秀夫・村上明子・山口昌宏・*倉井耕一） * 現育種部

表-1 生育・収量・品質調査（農業試験場）

項目	出芽期	開葉期	成熟期	葉身長	葉柄長	乾腐病	根腐病	腐敗病
年生・品種名	月日	月日	月日	(cm)	(cm)	球率%	球率%	球率%
一年生								
みょうぎゆたか	6.29(-4)	7.7(-4)	10.20(+17)	23.6	19.1	13.9	-	1.5
在来種	7.3(0)	7.11(0)	10.3(0)	21.6	19.3	11.3	-	0.9
あかぎおおだま	6.28(-5)	7.7(-4)	10.20(+17)	17.1	11.4	5.4	-	0.9
二年生								
みょうぎゆたか	6.24(+2)	7.6(-1)	10.13(+14)	44.1	42.1	65.8	-	1.6
在来種	6.22(0)	7.7(0)	9.29(0)	43.9	43.2	16.3	-	3.2
あかぎおおだま	6.21(-1)	7.4(-3)	10.6(+7)	41.4	36.3	28.2	-	0.8

項目	球茎重	肥大率	生子重	生子数	生子1	棒生子	荒粉	精粉歩留%		粒子組成%		
年生・品種名	(kg/a)	倍	(kg/a)	個/株	個重g	率%	歩留	対荒粉	対生芋	大	中	小
一年生												
みょうぎゆたか	175.9(157)	7.4	34.0	1.6	8.0	10.4	-					
在来種	111.8(100)	5.0	12.2	0.9	4.7	5.2	-					
あかぎおおだま	170.2(152)	7.7	11.3	0.6	7.3	41.7	-					
二年生												
みょうぎゆたか	283.7(135)	4.7	60.5	5.0	14.2	53.3	18.9	62.6	11.8	28	39	33
在来種	210.3(100)	3.7	30.6	5.1	7.6	13.2	18.2	54.3	9.9	29	36	35
あかぎおおだま	333.2(158)	5.9	59.5	4.7	14.8	79.7	16.4	59.6	9.8	28	35	37

注) 植付日 5月18日 (1年生 平成4~9年の平均 2年生 平成5~9年の平均)

出芽期・開葉期・成熟期・球茎重の()内数字は在来種との日数の遅速及び収量比率

表-2 現地試験(3年生)の生育・収量調査(5カ所の平均)

項目	植付日	出芽期	開葉期	成熟期	葉身長	葉柄長	乾腐病	根腐病	腐敗病
品種名	月日	月日	月日	月日	(cm)	(cm)	球率%	球率%	球率%
みょうぎゆたか	5.23	6.21(+7)	7.3(+6)	10.20(+9)	72.5	74.0	46.2	10.0	12.6
在来種		6.14(0)	6.27(0)	10.11(0)	73.6	70.0	3.2	17.6	5.0
あかぎおおだま		6.17(+3)	7.3(+6)	10.15(+4)	75.1	61.9	34.2	12.6	10.2

項目	球茎重	肥大率	生子重	生子数	生子1	棒生子	荒粉	精粉歩留%	
品種名	(kg/a)	倍	(kg/a)	個/株	個重g	率%	歩留	対荒粉	対生芋
みょうぎゆたか	524.5(124)	4.49	86.7	6.1	25.9	61.6	16.3	73.0	11.9
在来種	422.6(100)	3.28	34.2	5.0	13.1	23.2	18.3	69.7	12.7
あかぎおおだま	631.7(149)	4.85	70.5	5.5	21.3	70.4	13.7	70.7	9.7

注) 出芽期・開葉期・成熟期・球茎重の()内数字は在来種との日数の遅速及び収量比率